

8/27(火) の発表



報道発表資料の配付日時

8/27(火) 15時00分

発表項目 (行事名)	(週報) 腸管出血性大腸菌感染症の発生について (週報) 細菌性赤痢の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所) 月 日 () 時 分～	発表者	
		発表場所	
概 要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆ (週報) 腸管出血性大腸菌感染症の発生について 室蘭、名寄、富良野、紋別、帯広保健所 ……別紙1</p> <p>◆ (週報) 細菌性赤痢の発生について 帯広保健所 ……別紙2</p>		
参 考			

報道(取材) に当たっての お 願 い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。 つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	室蘭、名寄、富良野、紋別、帯広保健所	

担 当 (連絡先)	保健福祉部健康安全局地域保健課感染症・特定疾患グループ (担当:角)		
	電話	(代 表)	011-231-4111 (内線25-506)
		(ダイヤルイン)	011-204-5253

腸管出血性大腸菌感染症の発生について（週報）

令和元年（2019年）8月27日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL 011-231-4111（内線：25-506）

FAX 011-232-2013

令和元年（2019年）第34週（8月19日（月）～8月25日（日））に、道立保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症（ベロ毒素産生性）が発生したのでお知らせします。

記

1 発生の概要

保健所	区分	性別等	発症日及び 主な症状	受診日	保健所 受理日	現在の状況	備考
室蘭	患者 (O157)	男性 (20歳代)	8月15日（木） 下痢、腹痛、 発熱	8月19日 (月)	8月23日 (金)	症状は快方に向か っている。（入院 はしていない。）	—
名寄	患者 (O157)	男性 (30歳代)	8月18日（日） 発熱、水様性 下痢、血便	8月21日 (水)	8月23日 (金)	症状は快方に向か っている。（入院 はしていない。）	—
富良野	患者 (O145)	男性 (小学生)	8月16日（金） 水様性下痢、 腹痛、発熱	8月17日 (土)	8月20日 (火)	症状は快方に向か っている。（入院 はしていない。）	—
	無症状病原体 保有者 (O145)	女性 (30歳代)	—	8月21日 (水)	8月21日 (水)	—	8月20日公表の 患者（女性（小 学生））の家族
	無症状病原体 保有者 (O145)	男性 (40歳代)	—	8月24日 (土)	8月24日 (土)	—	本日公表の患 者（男性（小 学生））の家族
	無症状病原体 保有者 (O145)	男性 (60歳代)	—	8月24日 (土)	8月24日 (土)	—	本日公表の患 者（男性（小 学生））の家族
紋別	患者 (O157)	男性 (60歳代)	8月19日（月） 下痢、血便	8月20日 (火)	8月22日 (木)	入院中であるが、 症状は快方に向か っている。	—
帯広	患者 (O145)	男性 (幼児)	8月15日（木） 水様性下痢	8月20日 (火)	8月23日 (金)	症状は快方に向か っている。（入院 はしていない。）	—

2 対応

- ・家族等の健康調査及び便検査
- ・患者及び家族等の喫食調査
- ・家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

3 その他

この件については、本日15時00分、管轄保健所においても資料配付を行っています。
 <報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。>

【参考】 腸管出血性大腸菌感染者の道内における発生状況（2019年）

8月25日（日）時点

区 分	8	18	25	26	74	91	103	111	115	121	128	136	145	146	148	157	165	不明	合計
患 者		1	1	11		1	2	3			1		4			47	1	4	76
無症状病原体保有者				7	1	7	1				3		1			7		6	33
計		1	1	18	1	8	3	3			4		5			54	1	10	109

(単位：人)

*政令市（札幌市・函館市・小樽市・旭川市）及び本日発表分を含む。

*全道の発生状況については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。（<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>）

細菌性赤痢の発生について（週報）

令和元年（2019年）8月27日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL 011-231-4111（内線：25-506）

FAX 011-232-2013

令和元年（2019年）第34週（8月19日（月）～8月25日（日））に、帯広保健所管内で細菌性赤痢が発生したのでお知らせします。

記

- 1 発生の探知
8月23日（金）に、帯広保健所管内の医療機関から細菌性赤痢の患者1名が発生した旨、同保健所に届出があった。
- 2 発生の概要
帯広保健所管内の女性（30歳代）1名が8月14日（水）から発熱、下痢症状を呈し、同保健所管内の医療機関を受診し入院、検査及び治療を受けた。
- 3 現在の状況
8月27日（火）現在、回復し既に退院している。
- 4 経過
8月14日（水） 発熱、下痢症状の出現
15日（木） 医療機関を受診し入院、検査及び治療を実施
23日（金） 医療機関より細菌性赤痢の発生届を受理
- 5 対応
 - ・ 家族等の健康調査及び便検査
 - ・ 感染者及び家族等の喫食調査
 - ・ 家族等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導
- 6 その他
この件については、本日15時00分、帯広保健所においても資料配付を行っています。

*報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため、特段の御配慮をお願いします。

細菌性赤痢とは

区分：赤痢菌による感染症であり、感染症法では三類感染症に定められている。

症状：1～5日の潜伏期間の後に、発熱、下痢、腹痛が見られ、重い場合はテネスマス（しぶり腹；便意は強いがなかなか排便できないこと）、膿・粘血便（便に膿・粘液・血液が混じる）が見られることがある。

感染経路：汚染された食品や水などの摂取、細菌が付着した手や食器などを介した感染（経口感染）

予防方法：手洗い、食品の十分な加熱調理、不衛生な水や食品を口にしない

疫学：世界中に広く見られる感染症で、特に衛生状態の悪い国に多く見られる。

【細菌性赤痢の発生状況（過去10年）】

令和元年（2019年）8月25日（速報値）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
北海道	2	0	1	1	0	4	0	3	15	4
全国	235	300	214	143	158	156	121	141	268	56

(単位：人)

*政令市（札幌市・函館市・小樽市・旭川市）及び本日発表分を含む。

*全道の発生状況については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。

(<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)